

## 謝 辞

この事業は、(財)三菱銀行国際財団の御助成により、「アジアの国マダガスカル訪問・交流事業」として実現しました。同財団の御理解・御助力に深く感謝致します。

また、訪問先を御紹介等して下さったジョスラン・ラディフェラ前駐日マダガスカル大使閣下(現駐米大使)、同大使館ニリーナ・ラスル経済・通商参事官、この事業を暖かく御支援下さった関昭一・学校法人新潟青陵学園理事長・新潟青陵大学短期大学部学長及び藤田純子・新潟県青年海外協力協会会长、訪問先等を御紹介下さった倉田洋子・新潟マダガスカル友の会会長、マダガスカルに対するODA等についての説明をして下さるとともに青年海外協力隊員の訪問や隊員との昼食会、プロジェクト訪問等のアレンジをして下さった外川徹・国際協力機構(JICA)マダガスカル事務所長、細田悦子・ボランティア調整員及び柴山良春・フィールド調整員を始めとする同事務所の皆さん、同事務所との連絡・調整に当たって下さったJICA 地球ひろばの皆さん及び鎌田みどり・国際協力推進員(新潟)、仕事に関わる諸課題や村の生活等について説明し、案内して下さったアンブヒチャンガヌ村の小学校に派遣されている長塚未来・青年海外協力隊員、同村で御自宅を見せて下さり、村の生活の理解の手助けを下さった上に昼食まで御馳走して下さったユリさんとその御家族、安全対策等について御助言下さった河上隆史・在マダガスカル日本大使館書記官、マダガスカルの医療関係機関を御紹介下さった宮村治夫・同大使館医務官、母子保健改善プロジェクトの見学のアレンジ等をして下さった松井三明医師と関係者の皆様方、診療所を御案内下さった平間シスター、現地の学生の皆さんとの交流会を準備して下さるとともに御自宅に暖かく迎えて下さったマダガスカル・ガールスカウト連盟理事のファラマララ・アンドゥリアマンジャトウさんとハシナ・アンドゥリアマンジャトウ元郵政・通信大臣の御夫妻及び御父様、現地の学生の皆さんとの交流会を直接準備して下さったマダガスカル国連広報センターのゾエ・ラスアナイナ広報官、活動等について説明して下さった特殊法人マダガスカル自然保護区管理協会(ANGAP)のティアナ・アンドゥリアマンガ・情報システム課長とツィロイ・ラザフィンドズラザカ同課情報システム室長、その説明をアレンジして下さったハリジャウナ・ランドゥリアマナンテナヌア・ANGAP 事業部長(訪問時は南アフリカに御出張)、活動等について説明して下さるとともにプロジェクトの訪問をアレンジして下さったマダガスカルのNGOのFANAMBY のセルジュ・ラジャウベリーナ専務理事、そのプロジェクトの説明及びプロジェクト地の案内等をして下さったヴンジスア・ラスルアリスン・FANAMBY アンジョズルベ・プロジェクト本部長、私たちを暖かく迎え、お話を聞かせて下さったプロジェクト地の農家の方、また、保護林を案内して下さったガイドの方、超過密日程の中時間をとってお話し下さったイヴハシナ・ラザフィマヘファ・大統領府国家開発計画事務局長(当時。現在は、経済・貿易・産業大臣)、大学を案内して下さるとともに、他の元日本留学生の方々や唯一の日本人学生等を御紹介下さったゾ・ラライナ・ラザフィアリスン・アンタナナリボ大学理学部教授、急遽通訳をして下さったリジャ・マヘリマンディンビ・アンタナナリボ大学講師、同氏を御紹介下さった通訳のテフィンジャナハリ・タンテリニリーナさん、同氏と調整して下さった通訳のクリスティアン・ランドゥリアマンピウヌナさん、いつも気配りして下さった運転手のオレリエン・ラクトゥンラダニさん、私たちを暖かく迎えて下さった元日本留学生のハジャニリーナ・ラクトゥマナナ・アンタナナリボ大学理学部教授(京都大学)、エリ・ラミアリスン・同経済学部教授(明治大学)、交流会に来て下さったマダガスカルの学生の皆さん、ガールスカウト連盟の関係者、その協力者の皆さん、昼食会でお仕事や生活やマダガスカルについて聞かせて下さった青年海外協力隊員の皆さん、作業中にかかわらずお話を聞かせて下さったアンブヒチャンガヌの小学校の運営費を得るためにボランティアで野菜作りをしていらっしゃる方々、ボランティアで校舎の修理をしていた方々、その他私たちを暖かく迎えて下さった同村の方々、アンダシベの国立公園に連れて行って下さったもう一人の運転手さん、同国立公園のガイドの方々、マダガスカルの現地でお世話になった方々、また、事前勉強会を快く引き受けて新潟まで来て下さった田中ちひろさん(仙台市八木山動植物園、前・マダガスカル派遣青年海外協力隊員)、著書の「楽しいマダガスカル語会話」(バオバブ出版、2001年)を提供下さるとともに、マダガスカルの教育の制度と実態、社会の習慣等に関して快く御助言下さったマダガスカル在住の浦田あゆみさんに厚くお礼申し上げます。

また、バンコクにおいても、私たちを正式な来客として受け入れ、FAOの活動とともに国際機関

で働くための心構え等についてお話下さった FAO アジア・太平洋地域事務所の小沼次長、新野・土地管理官及び庄野・専門官補、これら 3 氏を御紹介下さった櫻尾昌秀(正一)・同事務所森林資源官(私たちの訪問時には御出張中)、同じく国際機関で働くことについて話して下さった西宮洋・国連環境計画(UNEP)アジア・太平洋地域事務所次長、夕食にお誘い下さるとともにアユタヤ訪問の交通等について調べて御助言下さった PTT(旧タイ石油公社)のアナン・スリセンスクルさん及びカンチャナ・ユーシリさん、そのほかタイでお世話になった方々にも厚くお礼申し上げます。

# 目 次

|                            | ページ |
|----------------------------|-----|
| 謝辞                         | i   |
| 1. 事業の概要                   | 1   |
| (1)国際開発研究会                 | 1   |
| (2)事業の目的                   | 1   |
| (3)マダガスカル選定の理由             | 1   |
| 2. 事前の勉強会                  | 2   |
| 3. マダガスカル訪問・交流             | 2   |
| (1)訪問箇所                    | 2   |
| (2)訪問日程                    | 3   |
| 4. 訪問の成果                   | 4   |
| 5. 報告会                     | 7   |
| (1)学生向け報告会                 | 7   |
| (2)市民向け報告会                 | 7   |
| (3)報告会での報告内容               | 7   |
| 6. 報告会以外の情報発信              | 8   |
| (1)インターネットによる発信            | 8   |
| (2)リーフレット作成・配布             | 8   |
| (3)JICA タウンミーティングへの出展      | 8   |
| (4)その他                     | 9   |
| 巻末資料                       | 11  |
| 資料 1 開発とは何か                | 13  |
| 資料 2 マダガスカルという国            | 16  |
| 資料 3 田中さん講演会               | 18  |
| 資料 4 マダガスカル訪問行程図           | 19  |
| 資料 5 マダガスカル訪問地図            | 20  |
| 資料 6 訪問・交流写真               | 21  |
| 資料 7 報告会                   | 36  |
| 資料 8 国際開発研究会ウェブサイト         | 41  |
| 資料 9 JICA ウェブサイトでの報告       | 42  |
| 資料 10 リーフレット               | 44  |
| 資料 11 JICA タウンミーティングでの展示概要 | 45  |
| 資料 12 新潟日報の記事              | 46  |